

1. 活動状況

団体名	社団法人北海道建築士会 恵庭支部
対象事業	その他 活動センターが地域貢献活動と認めるもの
事業名	建築作品寄贈事業
事業目的	小規模作品（ベンチ、物置等）の製作を、子供たちに実地体験してもらい、建築に興味を持ってもらう。
実施期間	10月頃を予定（学校との日程調整があるため）
実施活動内容	<p>小規模作品（ベンチ）の製作を、子供たちに実地体験をしてもらい、建築に興味を持ってもらう。</p> <p>製作した、作品を学校に寄贈し、児童に利用してもらう。</p> <p>恵庭市立和光小学校で実施。</p> <p>子供たちに、ものづくりの楽しさ、建築への興味を持ってもらうことができた。</p>
今後の課題 将来計画等	今後とも、市内の小中学校で、1年に1校程度の割合で実施していく。

伝えるものづくり

【恵庭】ものづくりの楽しさを子供たちに伝えようと、道建築士会恵庭支部（成田茂利支部長）の会員が2日、和光小（田中秀隆校長）で「建築体験塾」を開いた。子供たちは建築士の指導で実際に見事な木製のベンチを作り上げた。
（鈴木幸大）

建築士会恵庭支部 和光小で指導

電気ドリルでビスを打ち込む作業を体験する和光小児童ら



ドリル使いベンチ製作

同支部は市内の工務店や設計事務所なりに勧め、建築士百二十二人が所属。子供たちにもものづくりの楽しさを伝え、将来、建築士を目指すきっかけにしたいと、建築体験塾を初めて企画した。

同小での建築体験塾は、一日にも行われ、五日に長は「大工や建築士を自今回は同校四年生の総も実施。同小四年生は計九基のベンチを作る。春い」と期待する。来年以降も同支部の会員八人が校内の芝生に置き、レ降も小学校で体験塾を開のこぎりや電気ドリルをクリエーションなどに使き、匠の技を子供たちに伝授していくという。

同支部は市内の工務店や設計事務所なりに勧め、建築士百二十二人が所属。子供たちにもものづくりの楽しさを伝え、将来、建築士を目指すきっかけにしたいと、建築体験塾を初めて企画した。

同小での建築体験塾は、一日にも行われ、五日に長は「大工や建築士を自今回は同校四年生の総も実施。同小四年生は計九基のベンチを作る。春い」と期待する。来年以降も同支部の会員八人が校内の芝生に置き、レ降も小学校で体験塾を開のこぎりや電気ドリルをクリエーションなどに使き、匠の技を子供たちに伝授していくという。

田中校長は「最近の子供は自分で木を切ったり、ドリルで穴を開けたりする機会がほとんどなく、いい経験になる」と話している。

